

第167回 福岡産科婦人科学会 プログラム (ハイブリッド開催)

会 場 JR博多シティ会議室10F
〒812-0012 福岡県福岡市博多区博多駅中央街1番1号
TEL 092-292-9258

日 時 令和5年9月24日(日曜日)

9:00～	理 事 会 (9階会議室2)
10:00～	専門医制度委員会ならびに学会雑誌編集委員会 (9階会議室2)
10:30～	評 議 員 会 (9階会議室2)
12:20～	総 会 (10階会議室 A + B + C + D)
12:30～	学 術 講 演 会 (10階会議室 A + B + C + D)
16:30～	専門医共通講習 (10階会議室 A + B + C + D)
17:30	終 了

新型コロナウイルス感染の状況を鑑み、ハイブリッド形式での学会開催とします。詳細につきましては、福岡産科婦人科学会のホームページにおきまして、随時情報を更新いたします。

1. 第167回福岡産科婦人科学会のホームページより、事前登録をお願いします。
2. 講演時間は9分（発表6分、質疑3分）。
3. 発表はパソコンで行います。必ずご自身のパソコンをお持ち下さい。バックアップとして必ずUSBメモリもご持参下さい。当日、来場できなくなった場合には、事前にご提出いただいた動画を使用します。
4. ソフトは以下のものをご使用下さい。： Windows版 PowerPoint 2010/2013/2016
*Macintoshをご使用の方は、必ずパソコンと専用コネクタをお持ち下さい。
プロジェクターとの接続ケーブルコネクタは、ミニD-Sub 15ピンです。
5. 評議員の先生には事前にお申し込みをされた方にお弁当（実費1,000円）をご用意します。
6. 今回の専門医共通講習は、現地開催とオンデマンド配信を予定しています。オンデマンド配信を視聴では、講習終了後の設問（5択）に正解した場合に、専門医共通講習の感染（必須）1単位が付与されます。
7. 託児サービスをご利用いただけます（予約制）。詳細は9頁をご覧ください。
8. コロナ感染症対策のためマスク着用と手指の消毒にご協力をお願い致します。
9. 学会に関するお問い合わせは担当校（☎092-642-5394 担当：安永）までご連絡下さい。

担 当 九州大学医学部 産科婦人科学教室
主 催 福岡ブロック

一般演題

第1群) 12:30~13:15

座長：宮田 康平 (福岡大学)

1. 婦人科がん治療中にスタチンの影響が疑われる血中クレアチニンキナーゼ (CK) 上昇を認めた2例

小倉医療センター

○立野 崇正・河村 京子
竹内 一輝・伊波 勇裕
牛島 崇・清水 佳祐
小野 結美佳・藤川 梨恵
川上 浩介・元島 成信
川越 秀洋・大藏 尚文

2. 子宮頸部腺癌再発に対する免疫チェックポイント阻害薬 (ICI) 治療によりサイトカイン放出症候群 (Cytokine release syndrome : CRS) を発症した一例

産業医科大学

○関亦 真生・金城 泰幸
遠山 篤史・村上 緑
橋脇 冴弥・齋藤 佑真
萩本 真理奈・田尻 亮祐
樋上 翔大・武富 瑠香
星野 香・原田 大史
植田 多恵子・栗田 智子
吉野 潔
同 産業保健学部広域・発達看護学 松浦 祐介

3. LenvatinibおよびPembrolizumab併用療法中に大動脈解離を生じた と考えられる子宮体癌の一例

田川市立病院

○東 元 孔 志・吉 田 祥 子
椎 名 隆 次・藤 田 拓 司

4. 再発卵巣癌術後に自己免疫性溶血性貧血を発症し救命しえた1例

久留米大学

○杉 本 愛 沙・山 田 空 明
田 邊 優 介・下 村 峻 司
岡 洋 甫・大 草 貴 史
浦 郷 康 平・田 崎 慎 吾
葉 高 杉・田 崎 和 人
勝 田 隆 博・西 尾 真
津 田 尚 武

5. 診断に苦慮したSerous tubal intraepithelial carcinoma (STIC) の 一例

北九州市立医療センター

○是 澤 魁 斗・北 出 尚 子
井 上 暎・本 村 真由子
安 藤 伶 旺・中 島 奈津実
永 井 亜佑実・末 永 美祐子
鈴 木 りりこ・森 田 葵
井 上 修 作・原 枝美子
西 村 淳 一・兼 城 英 輔
尼 田 覚
同 総合周産期母子医療センター 高 島 健

第2群) 13:15~14:00

座長：倉員 正光 (福岡大学)

1. 高度肺低形成が予測され出生前に家族へ十分な情報提供を行うことができた常染色体潜性多発性嚢胞腎の一例

JCHO九州病院

○川 浪 芙美恵・愛 甲 悠希代
駒 水 達 哉・池之上 李都子
安 東 明 子・魚 住 友 信
安 武 伸 子・西 村 和 泉
川 上 剛 史・河 野 善 明

2. 複数の医療圏を跨いだ管理に難渋した特定妊婦の一例

産業医科大学

○磯 嶋 裕 佳・田 尻 亮 祐
内 山 伸 一・齋 藤 佑 真
飯 尾 一 陽・網 本 頌 子
近 藤 恵 美・吉 野 潔
塚 田 風 歩・木 島 玲緒人

産業医科大学 神経精神科

3. 重症の双胎間輸血症候群 (TTTS)、selective FGR、双胎間貧血多血症 (TAPS) を合併した一例

久留米大学

○青 木 瑠美子・井 上 麻 実
黒 川 裕 介・田 邊 美 紀
吉 川 秀 昭・池 田 周 平
岡 村 優・山 川 理 子
武 藤 愛・横 峯 正 人
堀之内 崇 士・吉 里 俊 幸
津 田 尚 武

4. 臨床像と胎盤所見に乖離を認め、妊娠中期のCOVID-19感染との関連が疑われた常位胎盤早期剥離の一例

小倉医療センター

○牛 島 崇・徳 田 諭 道
立 野 崇 正・竹 内 一 輝
伊 波 勇 裕・清 水 佳 祐
宮 原 英 之・牟 田 満
藤 川 梨 恵・小 野 結美佳
石 橋 弘 樹・北 川 麻里江
清 水 隆 宏・川 上 浩 介
川 越 秀 洋・大 藏 尚 文

5. 胎児期に診断し網羅的遺伝子解析を行ったMeckel-Gruber症候群の2例

北九州市立医療センター

○井 上 暎・原 枝美子
本 村 真由子・安 藤 伶 旺
中 島 奈津実・末 永 美祐子
永 井 亜佑実・鈴木 りりこ
森 田 葵・井 上 修 作
北 出 尚 子・西 村 淳 一
兼 城 英 輔・尼 田 覚
高 島 健
国立成育医療研究センター・群馬大学医学部 分子細胞生物学
秦 健一郎

同 総合周産期母子医療センター

国立成育医療研究センター・群馬大学医学部

第3群) 14:00~14:55

座長：野口 幸子 (福岡大学)

1. レボノルゲストレル放出子宮内避妊システム抜去時に残存した片側アームを子宮鏡下に除去した1例

産業医科大学 若松病院

○齋 藤 研 祐・清 水 彩 理
村 上 緑・吉 村 和 晃

2. 当院で経験した帝王切開癒痕部妊娠の2症例

浜の町病院

○田 中 久美子・塚 原 春 菜
清 武 早 紀・守 口 文 花
松 水 優 美・中 山 紗 千
藏 本 和 孝・前 原 都
江 頭 活 子・上 岡 陽 亮

3. 成熟嚢胞性奇形腫の破裂により化学性腹膜炎をきたした一例

原三信病院

○長 嶋 彩・松 枝 さやか
山 道 力 子・弓 削 乃利人

4. 帝王切開術後創部皮下に発生した腹壁子宮内膜症の2例

九州中央病院

○東 條 伸 平・松 下 知 子
衛 藤 貴 子

5. 両側卵管妊娠が疑われた一例

聖マリア病院

○清 家 崇 史・寺 田 貴 武
河 野 雅 法・坂 田 光太郎
劉 天 誠・石 黒 元
森 下 優 史・杉 悠
哲 翁 晶・堀 洋 暢
朴 鐘 明・下 村 卓 也

6. 腹腔鏡下に診断・治療した右卵巢妊娠破裂の一例

原三信病院

○山 道 力 子・長 嶋 彩
松 枝 さやか・弓 削 乃利人

第4群) 14:55~15:40

座長：吉川 賢一 (福岡大学)

1. 卵巣腫瘍との鑑別を要し、術後病理検査で診断された低異型度虫垂粘液性腫瘍の1例

聖マリア病院

○池田 裕一郎・寺田 貴武
坂田 光太郎・森下 優史
哲翁 晶・清家 崇史
権藤 佳奈子・朴 鐘明
堀 大蔵・杉山 徹
下村 卓也

2. 血管内進展を認めた高異型度子宮内膜間質肉腫の一例

福岡大学

○平野 智佳・宮田 康平
倉員 真理子・木村 いぶき
重川 浩一郎・吉川 賢一
野口 幸子・清島 千尋
四元 房典

3. 当院における進行卵巣癌・腹膜癌に対する診断的腹腔鏡下手術の検討

福岡赤十字病院

○和田 智子・江崎 慈萌
田中 桜子・久富 恵里香
吉里 美慧・古賀 万里子
中村 友里恵・吉田 優
吉田 紘子・濱崎 洋一郎
遠城 幸子・西田 眞

4. ペムブロリズマブ・レンバチニブ療法が著効した子宮体部明細胞癌の1例

九州大学

○金子 夏生・友延 寛
蜂須賀 一寿・前之原 章司
小玉 敬亮・八木 裕史
安永 昌史・小野山 一郎
浅野間 和夫・矢幡 秀昭
加藤 聖子

5. 卵巣、子宮峡部、直腸の子宮内膜症に同時発生した類内膜癌の一例

済生会福岡総合病院

○西本 鞠那・田北 美香子
衛藤 遥・米田 智子
松浦 俊明・西 大介
丸山 智義・坂井 邦裕

第5群) 15:40~16:25

座長：伊東 智宏 (福岡大学)

1. 中隔子宮の中隔膜様部分に胎盤が付着していた2症例

青葉レディースクリニック

○小松 一・中並 博美
川口 日出樹・村尾 寛
中村 元一
同 麻酔科 江口 明

2. 胎盤位置異常を合併した子宮頸部摘出術後妊娠の臨床像の検討

九州大学

○中野 幸太・中原 一成
杉浦 多佳子・清木場 亮
坂井 淳彦・蜂須賀 信孝
藤田 恭之・加藤 聖子

3. 梅毒治療後妊娠から先天梅毒を発症した1例

九州医療センター

○片岡 寧々・古賀 さくら
竹内 優・大塚 裕一郎
永谷 優華・荒木 研士郎
中並 弥生・田中 大智
鳩之浦 佳奈・庄 とも子
瓦林 靖広・藤原 ありさ
小川 伸二

4. REVOA (Resuscitative Endovascular Balloon Occlusion of the Aorta; 蘇生的大動脈バルーン遮断) により子宮を温存し得た臨床的癒着胎盤の一例

福岡大学

○永田 浩士郎・平川 豊文
井槌 大介・田中 一孝
石田 倖子・讚井 絢子
伊東 智宏・漆山 大知
倉員 正光・四元 房典

5. 帝王切開後に子宮動脈塞栓術を施行して二期的に子宮を摘出した前置癒着胎盤の一例

福岡赤十字病院

○江崎 慈萌・古賀 万里子
田中 桜子・久富 恵里香
吉里 美慧・中村 友里恵
吉田 優・吉田 紘子
濱崎 洋一郎・和田 智子
遠城 幸子・西田 眞

専門医機構認定共通講習 (専門医共通講習)

16:30~17:30

座長：加藤 聖子 (九州大学)

~COVID-19の感染対策から学んだこと~

下野 信行 (九州大学病院 グローバル感染症センター センター長)

※本講習の受講により、「専門医共通講習：感染 (必修) 1単位」が付与されます。

託児所ご案内

開設日時：令和5年9月24日（日）12：20～17：50
対象年齢：下記①参照
委託先：（株）イコニコ・カンパニー
料金：お子様1人につき3,000円 当日現金払いとします。
申込締切日：令和5年9月15日（金）まで
申込先：福岡産科婦人科学会
e-mail：terata.tomomi.289@m.kyushu-u.ac.jp

*事前のお申し込みなしではお預かり出来ません。

【イコニコ・カンパニー イベント安全対策】

- ①3歳児以降～未就学児のみ（※原則1家族2名まで）
※感染症対策のイベント保育基準として収容人数を50%と定めます。
※状況次第で受入年齢は変更予定
- ②預かる前の手洗い、うがい（保護者様と一緒にお願い）
- ③当日、現場で検温実施
※安全を期して37.5℃以上は預かり不可
※お子様だけでなく、同行のご家族が37.5℃以上であれば預かり不可
- ④お子様のマスク着用必須
※過去に発熱等があった場合は解熱後24時間以上経過し、呼吸器症状がない
事の確認
※安全対策上、出来るだけご協力をお願いいたします。
- ⑤首都圏、緊急事態宣言地域、感染者拡大地域の受け入れ不可
- ⑥簡単なアンケートの記入

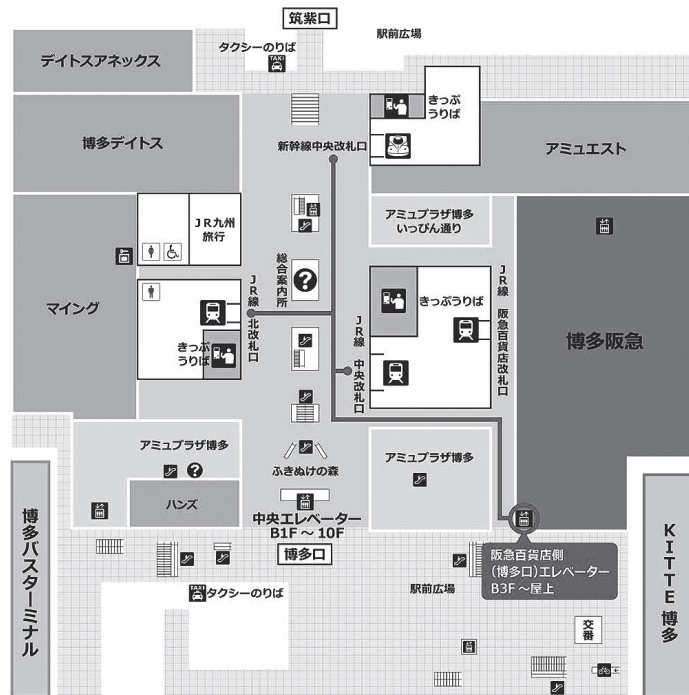
JR博多シティ会議室へのアクセス



博多駅からのアクセス

9時の理事会に参加される先生方は阪急博多口のエレベーターが8時45分から稼働致しますので、その時間帯にお越し下さい。

会議室A・B・C・D・E・F・G・H・I・Jをご利用のお客さまは10階へお越しください
 会議室1・2・3・4、JR九州ホールをご利用のお客さまは9階へお越しください



| 交通アクセス |

会場（JR博多シティ会議室）は、JR博多駅阪急百貨店エレベーターで10Fです。

■自家用車 駐車場は用意しておりませんので、なるべくバス・地下鉄・電車などをご利用ください。

JR博多シティ会議室までの経路は、<https://www.jrhakatacity.com/communicationspace/meetingroom/access.html>のサイトでも閲覧できます。

